令和3年4月6日

定例会＆CM 4月　議事録

作成者：酒井 岳大

▍開会行事　・挨拶　一般社団法人長崎県サッカー協会審判委員長　小川直仁

・新年度が始まり、集合型で会議を開催するようになった。

・２、3月を振り返り、新規２級審判員、２級審判インストラクターの合格があった。

・若者たちは県外に旅立って行ったが、各県委員長につなぎを行った。

・新年度がスタートし、気持ちをリフレッシュしてまた盛り上げて行って欲しい。

・6月5日(土)、６日(日)に九州協会審判フォーラムが熊本県で集合型での開催が決定。

・委員長は集合が決定したが、各部によってはWebもある。再度ご協力をお願いしたい。

・5月に県協会総会があり、表彰がある。本日の会議で推薦者を決定したい。

・３、４級の資格更新を逃した3名を入金させ、救済措置を行っている段階である。昨年度から完全e-ラーニングによって更新しているが、開催する側の責任としてその案内の徹底ができていたか、またシステム上の問題をクリアできていたかということを確認する必要がある。救済措置は今年度のみで、次回からは自己責任でお願いしている。

・コロナ禍も終息して、サッカーの喜びを感じられ、審判活動を行えて、自己実現に向けて動いていける1年にしたい。

・次の総会に備えた準備をしなければならない。

▍報告事項

1. 2020年3月度の事業報告〔菊次〕

・福田さん、内田さんおめでとうございます。今後一層鍛えますのでよろしくお願いいたします。

・特段の報告はない。

・2020年度予算はギリギリまで使い切った。

【質疑】

なし

　**⇨原案承認**

1. 2020年度決算報告〔浦川〕

・浦川副委員長より2020年度経理報告書（4/5時点）について報告。

※詳細は別添資料を参照。

【質疑】

なし

**⇨原案承認**

1. 2021年度長崎県サッカー協会及び審判委員会活動方針の確認〔小川委員長〕

・3月定例会のとおり。

**⇨質疑なし、原案承認**

1. 2021年度組織図・年間スケジュール・NRTC運営方針・支払い基準の確認〔菊次〕

・組織図について最新版を提示。

・強化審判員のアシスタントは、川原、岩永、宮田、上野の4名のみが希望（4/5）

時点

・年間スケジュールについては、今後Googleカレンダーにて共有し、随時更新してい

く予定。

・NRTCの2021年度の活動方針に大きな変更点はない。

・NRTCのコンセプトに基づいて、審判委員会のテーマの実現をやっていくが、今後我々が行う事業はプロジェクトのようなもので、「研究」のような感覚で取り組んで欲しい。つまり他県がやっていないことを革新的に取り組んでいかないと、田舎の長崎が九州や日本を牽引することはできない。「毎日が革新」と思ってやってほしい。

・昨年と同じということがないように、何か一つでも新しいことを取り入れて１年間活動してほしい。

・支払い基準については、前回の定例会での説明後、再検討となったため、再検討後に委員長からの承認を得た。

・我々の行為はボランティア行為であり、個人の行動、行為に対して支払いを行うと

いう基本姿勢に基づいて支払う。

・その他、詳細について菊次センター長より説明。　※詳細は別添資料を参照。

・不都合や齟齬が生じた場合は見直しを行いながらやっていく。

【質疑応答・情報共有】

・対馬市審判委員長が大浦氏から福薗さんに変更になっている。

　**⇨全体への異議なし、原案承認**

　5　その他

▍協議事項

１　議長選出　松田敏彦副委員長

　２　2021年度NRTC事業別年間事業計画概要（案）について〔菊次〕

　・菊次センター長より「2021事業別年間事業計画概要（本表）」に基づき、各事業部の

年間の事業概要について説明。　※詳細は別添資料を参照。

　・予算交付予定額に対して支出予定金額が18万円あまり上回っているため、各事業部

の担当者はこのことを念頭に置いて事業を進めてほしい。

　・もしも収入を上げられる事業があるとすればどこか？

　⇨RC担当者より、RCは計上が可能との見解。

　⇨新規４級認定講習会担当者より、講習費として計上は可能ではないかとの見解。

ただし、県協会事務局の登録料との兼ね合いをクリアする必要がある。

　**⇨その他質疑、意見なし。原案承認。**

３　4月度の事業運営（案）について〔菊次〕

・強化、アカデミーの面談も予定。

・1stキャンプはWebにて実施。詳細は後日送付。

**⇨異議なし、原案承認**

４　2021年度審判委員会総会（案）について〔菊次〕

・全員にメールにて送付している総会案内のとおり実施予定。

【質疑応答・意見等】

なし

**⇨原案承認。**

５　1stCAMP（案）について〔浦川副委員長〕

・後ほど詳細資料を送付予定。

**⇨３承認に伴い、合わせて承認**

６　2021年度予算（案）及び支払い方法（案）について〔浦川副委員長〕

・浦川副委員長より今年度の会計処理について説明。

・今後はNRTCのGoogleドライブのアカウントで資料や様式の共有を行いながら会計

処理を進める。

　・2021年度は都道府県トレセン活動費を増額。委員会費を10万円減額

　【質疑応答・意見等】

　Q.　PDFでの送付はダメなのか？

　A.　補助金の請求はPDFでも構わないが、最終的な会計処理には原本が必要。

中間報告はコピーかPDFでも可。（県協会事務局 中村氏）

　⇨審判委員会は１事業につき１枚という様式を提出してもらっているため、県協会事務

局で、審判委員会専用の様式を早急に作成できないかを検討する必要があると提案。

（県協会事務局 中村氏）

　・補足説明書：最終的決算報告を考えると、PDFで送ったとしても早い段階で原本が届

いている方が会計処理の問題をクリアできて良い。

　・JFAのスローガン「会計のセルフチェック」に倣って、経理報告書はドライブに

アップする。

　・今年度からの会計処理方法については数回にわたって繰り返し説明する。

　・今年度予算はドライブにアップ。

**⇨原案承認**

７　その他

【競技者の用具について】

・3月に雲仙市で開催されたU-11の九州大会で、ソックスの上に硬い芯が入ったサポ

ーターを巻いたまま大会を決勝まで勝ち上がったチームと選手がいるという案件があ

った。本来は認められるべきではないが、大会を通して注意がなかったということ

で、マッチコミッショナーと相談したのち、両チームの役員と協議の上同意を得て試

合を開始した。

小川委員長より、

⇨大会要項と競技規則の兼ね合いが難しい状況ながら、教育的判断を含めいい判断を

していただいたと思う。

【３級昇格審査合格者について】

・3月に３級認定講習会を開催し、1名が合格している。

**⇨異議なし、原案承認**

【県協会表彰 推薦候補者について】

・2021年度総会にて行われる県協会表彰に、審判委員会から山田秀信、永谷真一両氏

を推薦する。

・これまでに審判委員会から28名が表彰されている。

・表彰規程で50歳以上という年齢基準がある。

・年齢順に功労者を推薦した。

**⇨異議なし、原案承認につき委員長より県協会へ報告。**

８　議長解任

▍確認事項

▪次回開催（案）　**5月7日（金）19:30~「Web会議」**

▪その他：なし

▍閉会行事　・挨拶　原田雄次副委員長

・年度始めのお忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。総会もご参加いただきますようお願いいたします。お疲れ様でした。